

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

伊藤議員。

○6番（伊藤 麗君）

これで質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、伊藤議員の質問が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。再開を35分といたします。

〈午前11時30分 休憩〉

〈午前11時35分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕

○8番（渡辺栄一君）

おはようございます。渡辺栄一でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げる町、人口増を目指し、活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、糸魚川市へのUIターン及び移住者への取組について。

昨年10月以降、当市の人口は4万人を割ってしまい、その後も毎月減り続けて、止まるような兆し・気配が見られず、大変憂慮すべき事態となっています。当市内からというよりは、外部からの移住者を増やす方策が必要不可欠と考えられるが、今後の支援策も含めて伺います。

- (1) 現状をどのように認識し、増えない原因、すなわちUIターンや移住者のネックになっているものは何だと捉えているか。
- (2) 転入、転出者の主な理由を把握しているか。
- (3) 今年度、UIターンや移住者向けの支援制度を利用した成功事例は何件あったのか。また、有効にマッチングしていると考えられるか。
- (4) 1月に東京で行われた「JOIN移住・交流&地域おこしフェア2023」の反応はどうか。相談の件数及び相談者に対するフォローを今後どうするのか。
- (5) どの自治体も一定の制約下にあるので、勧誘条件が軒並み同じになる傾向にあるが、何か「目玉」になるもの、「うちの売りはこれだ」というものを考えているか。

2、当市のにぎわいの拠点施設、（仮称）駅北子育て支援複合施設基本計画（案）について。

1月20日、翌21日に3地域（青海、糸魚川、能生）で同基本計画の素案についての住民説明会が開かれ、その後、1月25日から2月23日までパブリックコメントが実施された。施設の内容と今後の計画について伺います。

- (1) 令和9年4月供用開始を想定とあるが、当市の人口及び出生数をどのくらいと予想しているのか。また、駅北地区の住民人口はどのくらいを予想しているか。
- (2) 1月20日、21日の住民説明会では、どのような意見が出されたか。糸魚川市が期待した意見はあったか。
- (3) パブリックコメントの結果や公表はいつになるのか。
- (4) 駅北地区には、キターレもあり、新たに図書・学習スペースが必要なのか。また、図書館も3地域にあり、既に飽和状態ではないか。
- (5) プレイルーム（屋内遊戯場）については、小学校高学年までを対象としているようだが、どのようなものを想定しているのか。
- (6) 市内には、他の既存施設や空き店舗等がたくさんあり、改修・再利用を図っていくことで、限られた予算を箱物建設より子育て支援センターの相談機能の充実などに充てるべきと考えるが、いかがか。また、国から交付金がもらえるために計画をつくったのではないか、次の一手を考えているか。

3、柵口温泉権現荘の今後の施設運営について。

令和5年度以降、柵口温泉権現荘の指定管理者の応募がなく、今年度末で終了となる。今後の施設運営について考えを伺います。

- (1) 当面、日帰り温泉での営業を続ける意向に変わりはないか。
- (2) 前回の質問で、民間譲渡の可能性を検討していると市長の答弁があったが、譲渡先は見つかったのか。
- (3) 平成26年・27年のリニューアル総事業費に約4億円かけてしまったことをどう考えているか。
- (4) 令和5年度以降、さらに必要となる大規模改修費用（空調設備熱源更新工事等）で約7,360万円が必要となるのか。
- (5) 市の大型管理施設でこのような事態になってしまったことをどのように捉えているのか。

4、米田市長の公約である市内に看護師養成学校、もしくは看護師養成所設立構想について。

米田市長が公約の「教育」の分野で、地域医療、高齢化社会での看護師の重要性を酌み、市内に看護師養成学校、もしくは看護師養成所の設立を目指すとありますが、残る任期も折り返しとなり、実現性について伺います。

- (1) 設立のための予算は概算でどのくらい必要なのか。当市ではハードルが高いのか。
- (2) 当市に若者を呼び込むためには看護学校にとらわれず、高等教育専門学校が必要と考えるが、いかがか。
- (3) 米田市長の本気度はどのくらいなのか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

渡辺栄一議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、移住先での暮らしや就業などが影響しているものと捉えております。

2 点目につきましては、転入・転出ともに就業関連が主な理由となっております。

3 点目につきましては、U I ターン支援制度による移住者数は、令和 5 年 1 月末現在、2 9 世帯 4 4 人となっております。

4 点目につきましては、約 1 6 0 人の来場があり、引き続き希望者には、オンライン相談の実施やイベント周知を継続してまいります。

5 点目につきましては、東京圏からのアクセスのよさや、ユネスコ世界ジオパークに認定されている自然環境と、ヒスイや歴史文化等の地域資源が魅力であると捉えております。

2 番目の 1 点目につきましては、総合計画における令和 1 2 年の推計では、総人口を 3 万 3, 7 3 2 人、出生数を 1 6 9 人と見込んでおり、駅北地区の人口においては、駅北まちづくり戦略における 1 2 年の推計値として、4 8 8 人と見込んでおります。

2 点目につきましては、実際の利用や運営方法等についての質疑のほか、整備に対する賛否、また、さらなる意見聴取や議論の必要性について、ご意見がございました。

3 点目につきましては、本定例会の常任委員会で報告し、審議をいただいた後、結果を公表いたします。

4 点目につきましては、子育て支援機能と併せて、多世代が集う場としてにぎわいのあるまちづくりの一助になると考えております。

5 点目につきましては、今後、詳細な設計や運営方法を策定する中で検討してまいります。

6 点目につきましては、未来を担う子供たちの成長と子育て世代が安心して出産・育児ができる環境づくりに向け、地域と社会が一体となった子育て環境の充実を図ることが不可欠であることから、子育て支援の拠点としての施設整備を進めたいものであります。

3 番目の 1 点目と 2 点目につきましては、民間譲渡の可能性を検討しておりますが、当面は日帰り温泉のみの営業を続けてまいりたいと考えております。

3 点目につきましては、施設の利便性や機能性の向上を図り、利用者の増加に努め、交流人口の促進につなげることを目的としてリニューアルいたしましたものであります。

4 点目につきましては、東館の空調設備の更新などに多額の費用がかかる見込みであります。

5 点目につきましては、地域住民の福祉及び都市と農山村の交流促進につながったものと捉えており、今後も適切な管理となるよう努めてまいります。

4 番目につきましては、近隣の看護学校においても定員割れの状況となっていることから、現状では設立は難しいものと考えておりますが、本市にとって看護師の確保は重要であることから、引き続き検討してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

先ほど市長の答弁だったんですけども、やはり未来を予測して、やっぱり計画することだと思っております。現在の糸魚川市の勢いからいって、かなり難しいのではないかというふうに思うんですけども、そこら辺はどう考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えをいたします。

今までのご質問は、人口の推計であったり現状であったりといったところが非常に厳しいのではないかといったことかと思えます。4万人を切ったというのが10月1日でございます、今現在におきましても、2月1日現在で3万9,697人という状況でございます。人口ビジョンでは、令和7年に3万7,650人になるという見込みをしておりますけれども、人口減少問題は、おっしゃるとおり最大の課題といったことで捉えております。非常に厳しい中ではございますけれども、全ての取り組む事業というのが人口減少につながっていくものと考えまして、誰もが住み続けられる、住み続けたくなるまちづくりといったところを、引き続き努めていきたいというものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ある程度やっぱり糸魚川市のその規模に見合ったというんでしょうかね、そういったものがやっぱり観点から必要じゃないかと思っておるんですけども。あまりにも前のめりになり過ぎて、非常にそういう部分では、ちょっと危険といいますか、そんなふうにも捉えたりはするんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えをいたします。

市といたしましても、やはりなかなか厳しい現状というのを理解する中で、それでも人口減少対策をするといったことにつきましては、やはり人口が減る中でも、人口構成、生産年齢人口と高齢者人口、またそういう年少人口の比率を何とか改善すると。どんどん、どんどんの人口ピラミッドが縦型になっていきますので、そういったときにも生産年齢人口の比率というのが、ある程度保た

れるように取り組むというのが一つの人口減少対策としては有効なのではないかというふうを考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

○議長（松尾徹郎君）

ちょっとすいません。暫時休憩いたします。

〈午前11時50分 休憩〉

〈午前11時50分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

すいません、ちょっと間違えてしまいまして、大変失礼いたしました。

やはりこの糸魚川市の人口が減り過ぎていると。それで、やはり外からやっぱり人を呼び込む以外にはないというふうに思っております。そのために重視されているのは、仕事であるとか、あるいは住まい、あるいは子育て、あるいは雪というふうに分析しております。

それで、糸魚川市の暮らしのためへのこの支援制度というものをやっぱり詳しく知らないケースがありまして、もっと目立つように発信すべきと考えておりますけれども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

ご指摘のように、なかなかPR不足であったりPRが足りないのではないかといったところもあるかもしれません。市としまして、そういったところをなるべく改善して、皆様から移住ですとか支援制度をご理解いただけるように、例えば移住に向けたサポートサイト、特別なホームページを作って、先輩方のインタビューですとか、移住支援制度の紹介などをしております。それ以外にも移住に來られ、移住を目的として糸魚川を訪れていただく方々には、体験ツアーですとか、少しでも糸魚川で暮らしていただける費用の助成であったり、また、交通費の補助であったり、そうい

ったところも行っているところであります。引き続き、ホームページですとか冊子等を使って、分かりやすい支援制度をPRしてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

UIターン促進のこの空き家取得支援事業補助金とか、あるいはUIターン促進家賃支援事業補助金の、40歳未満という年齢制限があるんですけども、これを撤廃するとか、あるいはさらなるこの優遇措置というんでしょうか、そういったものを考えるべきではないかというふうに思っておるんですけど、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

空き家の改修補助等につきましても、年齢制限を設けておりますのは、やはりあの空き家の利活用だけではなくて、人口減少対策としても移住者を呼び込む際に、できるだけ子育て世帯を呼び込んでまいりたいと。先ほど申し上げました人口構造をなるべく転換していくためにも、そういった年代の方々から、ぜひおいでいただいて、なおかつ空き家を利活用していただきたいといったことから、年齢制限を設けさせていただいているというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

あまり年齢制限を設けてしまうと、どうしてもその範囲が狭くなってしまって、やっぱりもうちょっと幅を持たせたほうが、私はいんじゃないかと思うんですけどね。あんまり40歳未満って言っちゃうと、非常に何かもう限定になってしまって、もうそれ以上は駄目なのかということになるので、もう少しフリーといいますか、そこら辺ちょっと見てもらえないのかなというふうに思うんですけど、そこら辺は再度いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

お答えします。

先ほど企画定住課長もお答えしましたように、やはり人口構造といいますか人口構成、やっぱり若い人が欲しいというのがありますので、移住政策も全般で幅広くというの、考えも一つはあると思うんですが、やはり集中的なところのターゲットを絞っていくと。そういったところで、やはり若年層をターゲットにして、これからのやっぱり糸魚川を担っていく方、そういった人材をぜひ

呼び込みたいというところが本旨でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（2）番についてであります。この転入・転出者は、主に何か、先ほど市長が答えた就業というようなことが主だというようなことだったんですけども、これは何かあらかじめどのように把握しておるのでしょうか。そこら辺は分かりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

市民課の窓口で、転入・転出のお手続をされる際に、職員が転出・転入理由について直接お聞きをしておる状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

割と何かその用紙等に何かチェック項目というんでしょうかね、入れたほうがもっと分かりやすいのかななんて思ったりするんですけども、そういったことじゃなくて、直接もう聞いて、相対で聞いてるということでもよろしいでしょうか。そういうことでもよろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

川合市民課長。〔市民課長 川合三喜八君登壇〕

○市民課長（川合三喜八君）

こちらの集計につきましては、住民異動届の際に、異動用紙の中で、異動事由の項目がございます。そこは具体的にお聞きして、番号を付番するだけなんですけども、この集計については、実は新潟県独自で行っておる集計でして、県のほうに情報提供して、県のほうで集計した結果が、またフィードバックして、私どものほうで把握しているような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると、例えばそのデータというんでしょうかね、それを利用して情報共有というんでしょうか、恐らく企画定住課とも関連するんだろうと思うんですけども、そういったことを共有しながら移住対策というんでしょうかね、そういったことに対しても力というわけじゃないんですけども、そういったこともやってるよというふうに理解してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

おっしゃるとおり市民課のほうから情報提供をいただきながら、企画定住課のほうでもそちらの内容のほうを見させていただいております。

今ほども市民課長が申し上げたような理由としては、やはり転勤、就職などの職業によるものが一番多いというふうになっておりまして、次いで、家屋の新築などの住宅を理由とした場合、その次が、婚姻などの戸籍を理由とした場合といったこととお聞きをしております。それ以外にも、県での調査というところも確認をさせていただいておりますし、どこどここの市へ転出した人がどれぐらいいるとか、どこどこから転入してきた人がどれぐらいいるといいうところも、数字としては見させていただいているものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

どうでしょう、今ある当市のこの支援制度を利用した成功事例というんでしょうかね、さっき数字はちょっと聞いたんですけども、かなりこれ有効にマッチングしているというふうに思っているんでしょうか。まだまだ改善するようなことというのは、あるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

正直、移住といったことだとすれば、移住における人気のある市町村というのがやはりございます。そういったところと競争していくというのはなかなか難しいところもあるのかなと思っております。やはり移住につきましては、ある程度、この辺りに移住したいですとか、山や海の近くに住みたいとか、そういった条件をそれぞれの個人の方々がお持ちの場合がございます。そのほかにも相談や体験を通じて、気に入って移住してくるといった場合があるというような状況であります。移住者が、そのエリア、その地域を希望しているかどうかというのが一番大きな要因なのかなと、移住の要因なのかなというふうに思っておりますので、その辺でのマッチングというのは、なかなか難しいといったところもあるとは思っております。

以上です。

○議長（松尾徹郎君）

質問の途中ですが、ここで暫時休憩いたします。再開を1時といたします。

〈午後0時01分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

4番目の質問に、4番目といいますか、（4）番の質問にさせていただきます。

1月に東京で行われたJOINの移住交流フェアでございますけれども、こちらに訪れた、このブースに訪れた方のリストというのはあると思うんですけども、そういった電話でその後どうでしたかとか、あるいは詳しい支援制度だとか、そういったものを郵送の案内はしているというふうに考えてよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

基本的にお越しいただいた方から相談カードというのを頂いておまして、そちらの方々には、当日お越しいただいたお礼と、また、今後イベントがあれば、ご連絡をさせていただくといった形の、メールでのやり取りを基本として考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

メールだけということなんですか。直接電話でお話というようなことはなぜしないのでしょうか。やっぱり何かしたほうが、私はいいような気がするんですけどね。そこら辺やっぱりメールだと、何か一方通行ってわけじゃないですけども、何か返信がくればそれでいいかもしれませんけども、やっぱり何かもうちょっとこう、それだと何か通り一遍のような感じがして、やっぱりちょっと真剣味といいますかね、本気度というのが伝わらないと思うんですけども、そこら辺はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

基本的に議員も行っておられたのでご存じかと思っておりますけれども、大体、滞在されているお時間というのが5分から20分程度というふうにお聞きをしております。また、立ち寄り理由は様々ありまして、移住に非常に興味があるという、大枠でいろんな市町村をご覧になりたいという希望で

来られた方から、本当に今、糸魚川市にも興味があったよといった形で来られた方、様々であったのかなというふうに思っております。

いずれにしても、その場その場で終わりということではなく、電話まではちょっと考えてないですけども、少しメールのやり取りを通じて、関心を持っていただける方に、またもう少し突っ込んだ情報を提供させていただくとかといったことを考えているところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

私だったら、もう電話したほうがいいかなんて思うんですけどね。やっぱりそういう部分では、やっぱり真意が伝わらないんでしょうかね、そんなふうには思うんですけども。やっぱりそちらの、職員対相手の方ということになると思いますんで、やはり電話での対応が、私はいいのではないかと思います。メール送ってるんですけどもみたいな形でもいいと思うんですけども、そこには電話番号も書いてありますし、何らかのアクションをしていただければと思います。

次に、同じ4番、（4）でございます。この移住、この交流センターももちろん、顔を出させていただいたんですけども、本当にこのテレワークももう可能な世の中になっておりますので、さらにこの首都圏からのこの移住者の方に、やっぱり手厚い支援というのはもっとできないもんかと。ちょっとちらっと見たんですけど、最大100万円を支給するというふうに何かリストには載ってたんですけども、もうちょっと何か今考えられることはできないもんかと思うんですけど、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

おっしゃる制度でいきますと、移住支援金という制度で東京圏からの移住者に支援金を給付するという制度のものがございまして、当初の規定よりもだいぶ緩くなって、テレワークやなんかも該当になるといったことで、まだ数は多くないですけども、糸魚川でも実績が出てきているという状況でございます。そういった現金を給付するという制度につきましては、それをきっかけとして糸魚川に来ていただくという形になることを目指していくものかと思っております。

先ほども少し申し上げましたように、移住の目的としては、やはり個人の希望、思考であったりというところが非常に大きいのかなと思っております。そういったところになるべく刺さるようにPRなりをして、また体験などを積んでいただいて、マッチングをして移住につながるように努めていきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

この日は、同時に地域おこし協力隊というものも募集されていたんですけども、現在の状況というんでしょうか、それはどうなっておりますか。また、いつまで採用したいというふうに思っておりますでしょうか。

○議長（松尾徹郎君）

もう一度、渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

同時にこの日は、地域おこし協力隊というものも募集というんでしょうか、コーナーを設けて、ブース設けてたと思うんですけども、現在の状況というんでしょうか、応募状況というんでしょうかね、それとあと、いつまでに採用したいのかということをお聞きしたんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

今現在、地域おこし協力隊の人数としましては、9名在籍をしております、先日募集をしているという段階のものは、3名の募集という形でさせていただいております。でき得れば4月から採用をしていきたいといったことで考えて、募集をしているものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

私のほうからは、議員のお尋ねは、多分今後の見通しだというふうに私は理解いたしました。やはり地域おこし協力隊、今、総務省がやっておりますけども、非常にあの数が多く、国のほうでも頑張らせていただいていると思います。糸魚川市でも、やはり目的、糸魚川市としてどういう分野で、どういう人が欲しいのか、そういう方向によって、今後は、さらに拡大するというふうに私は思っておりますし、いろんな全庁的な分野で今人材が不足しているのはもう承知いたしておりますので、しっかりとした目的、それと人数、どういった方なのかと。そういうところをはっきりする中で、採用の枠というのを今後も探ってまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると今のところ、誰も今応募というんでしょうかね、今たしか西海地区だとか、あと高倉地区だとか、あともう一つどこでしたかね、根知でしたかね、それはまだ、全然応募がないという状況なんですか。そういうふうなことなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

まだ正式な応募は頂いてないという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（5）番でございます。私、やはりテレワーク等でやっぱり地方への移住とか関心というんでしょうか、そういったものがやっぱり高まってきてるんだろーと思います。糸魚川には、やはり自然の豊かさであるとか、あるいは住みやすさというものがあるって、首都圏から新幹線で2時間ちょっとということで、交通のアクセスも決して悪くはありません。そこら辺をもっとアピールしてほしいと思いますけれども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

移住につながる要因の一つとしても、交通アクセスというところは上げられておるといふように捉えております。

ただ、やはり移住される方の大半は、東京圏ということになりますので、そこからやっぱり1時間とか1時間半圏内といったところが人気となる傾向があるように思っております。

ただ、糸魚川市の場合も、非常にアクセスいい状況でありますので、ネームバリューではなかなか難しいところありますけれども、もっと特色を生かしたPRですとか、先ほどから申し上げているように、緩やかに、つながりを持った方々から移住体験をしていただいたりといったことで、移住に結びつけていきたいというふう考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

移住者定住は、やっぱり人口増を図るためにも絶対力を入れていってほしいと、そのように思います。このUIターン及び移住者の取組については、以上で、ちょっとこの質問を終わりたいと思います。

続きまして、先ほどちょっとすいません間違えてしまいました件でございます。当市のにぎわい拠点施設ということで、駅北子育て支援センターについてであります。

本当にこれやっぱり計画を立てるに当たって、やはり未来から予測をして計画するもんだというふうにおっしゃるんですけども、先ほど申しましたとおり、市の勢いからいって、やっぱりちょっとかなり難しい部分があるんじゃないかと思っております。4年後はどうなってるかということになると、非常に利用者であるとか、そういったこともやっぱり十分加味しながら計画していかないと、結局、非常に後で困ってしまうようなことになりかねないというふうには私は思っておりますけれども、そこら辺は改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

先の見通しという部分で、ご質問かと思っております。確かに議員おっしゃいますとおり、先ほど市長答弁もありましたとおり、人口が減る、また子供の数というものも減っていくというような状況にあります。数が減るから必要・不要というふうな話ということは置いときまして、少子化の中にあっても、こういったところの施設を望まれる方というのがおられます。少子化の中だからこそ、なかなか子育てに関する悩みの相談ができなかったり、そういった場所を求められた方もいらっしゃると思いますので、そういった多様化するニーズに一つ一つ対応するべく、こちらの施設の位置づけということも考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

仮にそうであれば、別にあの場所でもなくとも、あの場所という変な言い方ですけども、あそここの一等地の場所じゃなくても、もうちょっと空き場所というんでしょうかね、いろいろあると思うんですけどね。私も決して反対してるわけではないんですけども、やっぱりもうちょっとこういう規模で、少子化でというのは分かるんですけども、もうちょっと違うところの目線・視線というんでしょうかね、そういった部分で考えていったほうが、私は絶対、将来この負担というんでしょうかね、そういったこともありますので、もう少し考えてもらったほうが、私はいんじゃないかと思うんですけどね。造ってしまっただけで大やけどを負うよりは、やはりもう少し手堅くやっていったほうが、私はいいと思うんですけども、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

市長答弁にもございましたが、まずは、駅北大火からの復興というところに一つの種が、この話はあると思っています。ですので、議員のおっしゃいます、あそこじゃなくてもじゃなくて、あそこでなければ駄目なんだと思います。そこに今、日本中で課題になっておる人口減少、先ほど人口減少ではないという話もありましたけど、今現在、お子さんを育てている人たちが、いろいろお困りになっている。こういうものが欲しい。冬は、なんか子供をどっか閉じ込めとかんならんとか、そういう声を頂いて、そういう2つの本当に塊が合わさったので、逆に、あそこにあれだけの施設を、私たちがやれる身の丈が、そこまで上がったんじゃないかなというふうに捉えて、この計画を今進めているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（2）とも関連してくるんですけども、この1月の20日のヒスイ王国館で開かれた説明会の素案のときに、市民の方から計画の再検討や慎重さを求める意見があったというふうに私は記憶しておるんですけども、そこら辺はあまり重視というんでしょうかね、無視していいのかということなんですけど、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

私、本当に用件があって出れなかったのですが、いろいろ聞かせたり読ませていただきますと、全体的にはやはり厳しいことを投げかけられる意見が多くございました。中には、もう要らない、ほかのことにもっと金使ってくれというようなご意見も頂きましたが、中にも子育て自体は賛成ですよとか、声としては少なかったかもしれないですが、もうちょっと一目で子育て支援センターと分かるような、魅力的な場所になるようにとか、そういう意見も頂きました。あの説明会で、素案の説明会では、やはりそういう厳しめの意見が多かったのは事実ですが、そういう意見も、私ども、これから十分私どもの中に取り込んで、計画づくりということを進めていかなきゃいけないと思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

（3）番目であります。先ほど伊藤 麗議員のパブリックコメントの件数は24名だったというふうにお聞きしましたけれども、これパブリックコメントで反対が多かった場合、どのように対処されるんでしょうか。それとも、もうこのまま突っ走って、もうあの計画どおりという、そういう意味合いがもう、そういうもう前のめりというんでしょうか、そうになってしまうんでしょうか。そこら辺ちょっと確認したいんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

先ほど伊藤議員のご質問にもお答えしましたが、今頂いた、寄せられたご意見というのを整理、分類、またそれに対して市がどういうことを考えているか、この意見はそうですねとか、そういうことを整理しておる段階です。市長答弁にもございましたが、本定例会の常任委員会で、そこにお諮りさせていただいて、ご説明、ご報告、ご意見を頂きまして、それらをまとめたものを基本計画ということで定めていくという今スケジュールを考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そういうことであれば、やはりもうちょっとやっぱり反対が多いと、ほとんど反対だった。仮にですよ、私は中身分かりませんが、多かった場合は、もうかなり縮小なり、やっぱりちょっと、もうちょっと考えるというふうには受け止めてよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

数がどっちが多かったからとか、そういうことではないんじゃないかなと思います。

ただ、突き詰めて考えますと、例えば本定例会の中に、次の、来年度の予算を、私どもは、議員の皆様方のほうに提案して、お願いをしておるところでございます。最終的には、市民の代表の皆様のご判断によらなければいけないということは、この子育てだけではない課題ですけど、そういうもんだと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

賛成・反対になると、あれはもう本当に一括で、例えばほかのやってもらいたいものは賛成なんだけど、これだけはちょっと反対というわけには、切り離すわけにはいかないもんだというふうには私は理解してるんですけども、なかなか悩ましいものだなというふうには思っておるんですけども。そこら辺は何か分離というんでしょうかね、できないというのはちょっと大変歯がゆい思いはするんですけども。いずれにしても、やっぱり民意というんでしょうかね、やっぱりそれが全部ではないかとは思いますが、ただ、こういう形でパブリックコメントということで公に発表といい

ますか、されて、それでまたそういうコメントを市民の皆さんから24名の方ではありますけれども、一応集まったという中で、やはりもう冷静にやっぱり判断していただきたいというふうに思うんですけども。やっぱりそこら辺が、何ていうかね、行政に立ってしまうと、もう造ってしまえみたいなね、そういうあれになってしまうと、やっぱりそれも危険だと思いますので、やはり慎重に、お金もかかることとございますし、高い買物だと、何回も言ってますけども高い買物なんで、そこら辺はやはり冷静に見ていただきたいなというふうに思っておりますけれども、改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

議員ご指摘の点については、反対だという意見はお伺いさせていただきました。

しかし、これに至るまでは、多くの皆様方のご意見をお聞きする中で進めてまいっておるわけがあります。パブリックコメントも、その一つでもあるわけであります。そういったものを総合的に判断をする中で、私たちは決定をさせていただきたいと思っております。

当初から、やはり申しておりますように、駅北大火の復興という一つの大きな事業の中で取り組んで、進めてまいるとるわけとございまして、今ここで、にわかには上げてきた問題ではございませんので、そういった経過の中で進めてきて、今現在に至ってるわけであります。そういったことを皆様方から、またご判断いただいて、決定していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

先ほど市長からも、大火大火とおっしゃっておるんですけども、あれから6年たっておると思いますし、やはり住民の皆さんのニーズというんでしょうかね、あのときの考え方と、やっぱり今の考え方というんでしょうか、やっぱり多少ちょっと違うんじゃないかなと思うんですけどね。あのときは確かに、やっぱそういうものがあつたらいいかななんて思ったりもするんですけど、ただ、6年経過して、やはり冷静にというんでしょうか、判断すれば、何となくちょっと何かもうずれてきてるんじゃないかなというふうには思ったりもするんですけども、そこら辺、あまりもう当初の、もう6年前のそれが、もうまだ根っこにあり過ぎて、なかなか何ていうんでしょうかね、皆さんというか市民の方も、どうもしっくりしてないんじゃないかなと私は思ってるんですけど、そういうことはないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

復興まちづくり計画につきましては、5年というスパンであるわけでありましたが、それが少し伸びておる部分があるわけですが、しかし、決して私は長くなってるとは思っておりません。あの大火をやはりしっかりと、復旧・復興に持っていきたいという形で計画させていただいたわけですが、それにつきましては、やはり国、また県のしっかりとした応援の中で取り組まさせていただいたわけですので、そう軽々に、もうやめましたというようなことはなかなかできない部分もありますので、それもやはりきちっと被災者や、また地域の皆様方や市民の皆様方と進めてきている計画でございますので、私は、今ここでもうやめますというわけには私は行かないと思っております。しっかりとした皆様のいろいろな意見を聞く中で、まとめていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっとなかなか堂々巡りなんで、ちょっと私が期待している答弁ではないようなので、とりあえず一旦ここは、これに関しては、一旦質問はやめます。

あと、この（4）番、駅北地区にはキターレもあって、図書館とか図書学習スペースというふうなことが盛り込まれておるんですけども、図書室もキターレで十分かななんて思ったりもしているんですけども。今後、例えば、焼津発の一箱本棚オーナー制度というんでしょうか、何かオーナーさんが、一箱ごと何か貸し出して、それで自分の好きな本をそこに入れて、2,000円ばかり払って、そういったオーナー制度があって、それで借りたい人は、ただで借りてということで、そこで何か交流が生まれるというんでしょうかね、そういったようなことを今、はやってるというんでしょうか、そういうこともあるので。何かキターレもちょっとお世辞ではないんですけども、非常になかなか寂しいというんでしょうかね、イベントがあるときは確かににぎわってるなというふうには思うんですけども、ふだん行ってみますと、ほとんど人がいないという状態で、ちょっと人がいないとなかなか入りにくいという変な心理も働きまして、非常に、どうひいき目に見ても非常に、はやってるというんでしょうかね、当初の思いとは全く違う、そういうふうな風景というか光景になってるんじゃないかと思うんですけど、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

穂苺生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 穂苺 真君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（穂苺 真君）

お答えをいたします。

この場所につきましては、先ほど市長答弁でもありましたように、にぎわいの一助となるようにということ、それから現図書館のほうにつきましては、まだなかなか利用者のほうが、まだ伸び悩んでいるということで、少し起爆剤的なものも必要なかなということもございます。新たに、新規の利用者の掘り起こしをしたいということで、あそこの、この近年の図書館の動向としましては、本を借りる、本をとということだけではなくて、そこで滞在をして、しばらく見ていただくとか、その間に本があるというような図書館が増えてきていることも事実でありますので、今後につき

ましては、そのような施設として捉えていきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

先ほどの伊藤議員の答弁のときにも関連しますが、キターレは、昨年度、令和3年度でホールですとかイベント利用、あと飲食等を含めまして、1年間で1万4,588名のご利用です。これは、申込みを頂いたり、飲食のカウントという、本当にカウントができるだけの人数で測ってます。これを365で割ってしまうと、少し軽い数字になってしまうんですが、当然、糸魚川の皆さん、東京のようにどこにでも人がいるという地区ではないので、週末のにぎわいとか、そういう部分にはちゃんと寄与できているものと思います。また、だんだん、イベントばかりではなくて、市民の皆さんが、そこで編み物教室をやったり、愛好家によるDVDの上映会とか、いろいろ使い方も広がってきているということで、いろんな目的を持った活動をしたい人たちが、それが駅北に来ていただけるという、そういう復興戦略の実現に向けての最初の一步目というところは、踏めているんじゃないかというふうに私は捉えております。

ただ、入りづらいというところは、私も最初は、その感覚は十分理解できます。何か入っちゃ駄目なのかなというような気もしますので、そこは、みいちゃん通り側とか、どっからでも何やってくるかが分かる。天気の良いときには、なるべく入り口を開けて、中でどんなふうなことで、どんな雰囲気なのか分かるというような、そういう工夫は、今後も運営者のほうと協議しながら、どんどん高めていきたいと思っております。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

5番目の質問に入ります。

（5）番です。屋内遊戯場に関してなんですけど、先ほど市長の答弁では、まだこれからというように、何か遊具に関しては、まだこれからだというようなことだということに、先ほど聞いたように思ったんですけども。高学年となると、どっちかというゲーム機を使って遊んでるというんでしょうか、わざわざそんなとこまで行かないで、家とか、あるいはどこかそこらの広場というわけじゃないんですけども、ゲーム機を使って遊んでるというのが現実的というんでしょうかね、そういうふうに思うし、雨の日と、あるいは天気が悪ければ、行くかという、かえって天気が悪かったらちょっと行かないんじゃないかというふうに反対に思うんですけどね。

というのは、今月も21日、子育て支援センターのほうをちょっと見させていただきましたけれども、運動アドバイザーさんが来るということで行かせていただいたんですけども、そのときもちょっとやっぱり天気が悪くて、2組、私が行ったときは2組の方が来ていただいたんですけども。やっぱりどうしてもちょっと天気が悪くなったり雨の日だと、かえって、わざわざプレイルームまで行くというのは、どうもちょっと現実的じゃないんじゃないかと、行動としては、そういうふう

に思うんですけども、そこら辺はどうお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

小学校の例えば高学年ですと、なかなか平日の夕方というのは、利用というは多くなるとは想定しておりません。

ただ、長期休みであるとか、あと休日等につきましては、家族、下のお子さんと一緒に来るといことが想定されます。

今回プレイルームの利用につきましては、当初はゼロ歳から6歳程度までということで予定をしておったんですけども、子育て世代の方等との懇談会を重ねる中で、やはり兄弟での利用もしたいという中で、小学生までというふうに広げた経過もあるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

この15億円の中に、遊具の費用というんでしょうか、それは含まれておるんでしょうか、ないんでしょうか。見た感じ、何か含まれてないような気がするんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

今回、基本計画の案の中に整備費用の概算を示しておりますが、そちらの中に遊具等の備品等につきましては含まれております。

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐、失礼しました。

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

失礼いたしました。

動かせるような備品等については含まれておりませんが、固定型の遊具等につきましては、こちらのほうの概算費用の中に含まれております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これはその固定型のものが含まれてるってことであれば、先ほど、まだある程度どういったもの

を想定しているかということをおっしゃっていただかないと、どういったものを買いたいのかというのが分からないので、そこら辺はもうちょっと明確にさせていただいたほうがいいんじゃないかと思うんですが、そこら辺はいかがでしょうか。

それとあと、例えば高学年が対象だということであれば、当然、普通小さいお子さんならそんなに危険はないかと思うんですけど、結構、小学校の高学年で、例えば5・6年生になると、少しはちょっと危険な遊びじゃないんですけども、ある程度、冒険心というんでしょうかね、そうなったときに、例えばそこで、もし不慮の事故といいますか、予期しない事故が起きた場合、それは誰が責任取るというんでしょうかね。それは大丈夫なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

まずは、どういった遊具を入れていくかという部分につきましては、今回、基本計画で上げてます概算につきましては、現在、想定される概算で上げておりますので、今後どういった遊具を入れるのかによって変わって、詳細につきましては詰めていくところでございます。

また、複数の学年層が利用される中でということ、けが等も心配だということでもあります。そちらにつきましては、一定のルールを定める中で、こちら基本計画に書いておりますけども、緩やかなゾーニング、ここは何歳から何歳までですよ、ここは何歳から何歳までですよということをお示しをしまして、理解をする中で、快適にご利用いただきたいというふうを考えておりますし、けがが起こった場合ということですが、それは、こちらのほうの、管理する側のほうの責任になるのか、また、それぞれの事由によって異なってくるものだというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっとまだまだなんか全然なんかアバウト過ぎて、どうもこれにはちょっと、うんとは言えない感じはするんですね。もうちょっとこれは、このプレイルームに関しては、ちょっとまだ今のところ、クエスチョンというかですかね、そういった感じはいたします。

（6）番に行きます。

やっぱりこの駅北自体、通って見ても分かると思うんですけど、本当に駅北自体がもう活力をなくして、いつまでもこの通りに、ほかの営業の店舗は残ってるとはやっぱり思えないんですね。本当にぱっと見て、ほとんど人も通ってないというような、そういう状態で、なので、本当に施設を造って、もう終わってしまうような、そんなような印象になってしまうんですけど、本当大丈夫なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

私は、活力をなくしているとは思っておりません。本当に駅北大火から、地域の皆様方や被災者の皆様方と一体となって、地域をどうしていこうかということで、いろいろ論議をしておるわけでございまして、以前からいろいろと取り組んでいることは承知のとおりだと思っております。私は、決して活力をなくしているとは思っておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

成熟した社会でも、やっぱりお金ってのはかかっていくもんだというふうに思っております。私らの地区でも、カーブミラー1つできないというようなこともあって、本当に事故が起きないつけてくれんのかというような、そういった陰口もたたかれております。5,000万円というランニングコストを、本当に今後、そういったこの税の負担というんでしょうかね、かからない、糸魚川は問題ないというふうに理解してよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今ランニングコストだけを捉えて、私はご指摘いただいてもお答えするのは少し無謀でないかなと思っております。今、議員ご指摘の点につきましては、基本計画でございまして、今、細部にわたっていろいろとご指摘をされておりますが、そこまで今まとまっておるということではございませんで、大枠の中で進めておる状況でございまして、金額につきましても、それぐらいの規模という形で捉えてるわけでございますので、多少出るかもしれんし、またもっとコストが下がっていく可能性もあろうかと思うわけでありまして。その辺は、これから決めていく中で、実施計画の中で決定するものと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

私は思うんですけど、やっぱり今急いでやっぱり造る必要はないと思うんですね。やはりもう少し時間かけて、やっぱり広く意見を聞いてやったほうがいいんじゃないかと、私はこの件に関しては、今そのように思っております。

それでは、3番目の権現荘に関して、再質問させていただきます。

（1）番、全体に関わることなんですけども、この地元の住民の皆さんに、この報告がないまま、このようなことになってしまったことをどのように思っているのか、役所が勝手に決めているように映って、在民主権が維持できていると思っておられるのか。あるいは住民の意見を聞いたのか。

周知はいつ行うのかということなんですけど、そこら辺は、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

市としましては、従来の指定管理者を募集した上で運営をしていきたいというふうに考えておりましたが、指定管理者を募集したところ、応募がなかったということから、この先、譲渡を中心とした方法を考えるということをございまして、ただ、現在まだうまくまとまっていない状況ですので、日帰りのみの営業を続けていきたいという市長答弁のとおりになっています。

また、住民への説明につきましては、今議会に日帰り温泉の運営の予算議案を提出しておりますので、そちらの中で、ある程度の方向が出ました際には、住民説明会をする予定で現在進んでおります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

今後もこの福祉という名の下に、その採算度外視で、完全週休二日制で営業を続けるのか。あるいは、この職員がローテーションを組み合わせながら毎日営業をしたほうがいいんじゃないかと思うんですけど、考えというのはどうなっておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

令和5年度からの運営では、お休みというのはなくしまして、時間的にも9時から夜9時までの営業を予定しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

9時から9時までということなんです、夜のね。

あと全体的なことでもあります。一応5月までのスキー客だとか、あるいはアユ釣り客であるとか、あるいはこの海水浴客、あるいは登山客等、需要があると思います。また、宿泊事業もそういったことで、こういったこの宿泊事業もあるんじゃないかと思うんですけども、このままでは地域そのものが過疎化されて、ますます寂れてしまうんじゃないかと思うんですけども、宿泊というのは、もうやらないということなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

現在、宿泊事業もやっていただける事業者を当たっているところでございます。

ただ、現時点では、日帰りの入浴のみの営業の予算を上げさせていただいておりますので、少しでも早く宿泊も含めた事業をやっていただける業者を探したいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると温泉、何ですかね、日帰り温泉と宿泊は、もう別の業者さんをお願い、お願いってわけじゃないんですけどセットではないということなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

現在、譲渡の検討をしているものにつきましては、日帰り、宿泊両方でございます。

ただ、今現在、宿泊をやっていただける業者がないということでもありますので、最低でも日帰りだけは堅持したいという考えからの、日帰りの予算計上ということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

(3)番でございます。この4億円かけてしまったことに関して、何ていうんでしょうか、どこに原因があって、検証されておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えします。

ちょっと市長答弁の繰り返しになってしまうのですが、施設の利便性の向上や機能の向上を図る中でリニューアルしたものでございまして、当時のリニューアルについては、意味があったものと考えておりますし、その後、今このコロナ禍の中で営業が難しくなっているものというふうに評価しています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

大変大きなお金だということを認識してほしいと思います。

あと、この令和5年度以降、さらに7,360万が必要だと言うんですけど、これは今後、これも持ち出しというような形になるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えします。

日帰り温泉の運用につきましては、施設の全部を使わずにやりたいというふうに考えておりますので、現在、修繕費として、今、議員おっしゃった金額の部分につきましては、修繕をせずに運営はできるものというふうな設定を組みたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

補足いたします。

当面、日帰り温泉をやっていくということで、今の費用につきましては、かけずに行いたいと思っておりますが、今後、譲渡先が、候補者が決まった段階で、その辺も含めて、どのような対応にするかということは、今後の協議になるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これはかなり、後でも問題というわけじゃないですけどね、ある程度、譲渡するにしても、かなり絞られるんじゃないかと思えますけども、そこら辺は大丈夫でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

施設を譲渡するに当たりましては、長期的な視点に立ちまして、行政が修繕して、渡したほうがいいのか、また民間に譲渡してからの対応のほうがいいのかということを経営的に判断して、検討する必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

まだそんなこと言ってたら、ちょっとなかなか前へ進まないんじゃないかと思えますけどね。本当にこの件に関しては。

○議長（松尾徹郎君）

時間が参りました。

○8番（渡辺栄一君）

はい。ありがとうございました。

〔「議長、議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。〔17番 古畑浩一君登壇〕

○17番（古畑浩一君）

○議長（松尾徹郎君）

ここで暫時休憩いたします。再開を2時といたします。

〈午後1時49分 休憩〉

〈午後2時02分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。